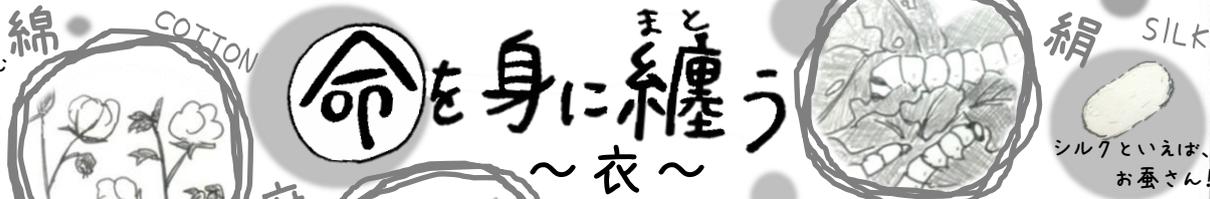


“命をいただく”という、何を思い浮かべますか？
 かわいい顔をした豚さんからいただくお肉？ やがて孵化する卵？すくすく育つ野菜たち？
 彼らの命をいただいていることさえ、少し前にはほとんど直結して感じることなくパクパクと
 食べていた私。自分たちの生活にあるものはどこから来たのか、どんな命の営みを経て
 ここに来たのか、そんなことに想いを馳せることができるようになったのは、フェアトレード(FT)商品のおかげかも知れません。

今回のテーマ ～“命を身に纏う”～ 「いのちを、身にまとう?」... 毛皮のコート??(現にそうなのですか...)。例えば、桑の葉をむ
 しむしゅと美味しそうにはうはる蚕の姿を見れば、「ああ、あのシルクの服はあの蚕の繭をいただいて…」とやっと実感できますし、
 虫たちが受粉に励みやと突った植物だともうと採ってしまうのが申し訳ないような気持ちにもなります。

素材からは見えないその命の働き... 化学繊維の服が多く出回るようになり、使い捨てのように安価な服が売られるこの時代に、
 生地が何から作られ、誰の手を渡り今ここにあるのかを知って服を購入するのは少ないようです。夏に向けて衣替えの季節、自分の
 手元にある一つ一つの服に向き合い、その生い立ちを思い浮かべてみませんか？

2013年4月24日に起きた、
 バングラデシュのラナプラザ縫製工場の
 崩落事故から4年が経ちますね...
 ファストファッションの行方は？



綿は棉花の種を包む
 “棉毛”というふわふわ
 とした繊維から出来て
 いる。棉の生育時に
 使う化学肥料や農薬
 だけでなく収穫時に
 効率よく棉毛のみを収穫
 するために“枯葉剤”を

使用することもあり、環境・
 健康への影響が報告されて
 いる。オーガニックコットンは
 世界全体のコットン栽培量の
 内、わずか1%ほど。棉毛には
 天然の燃りがあった、そのおかげ
 で保温性や吸水性がある
 んだとか。まさに自然の芸術!

最近、除草剤のCMが目立つ
 けど、雑草って耐性もつてくるん
 だってね 強いね〜



大麻草 たいまそう	亜麻 あま	苧麻 ちよま	ジュート麻	マニラ麻	サイザル麻	ケナフ
Hemp ヘンプ	Flax フラックス、 リネン	Ramie ラミー からむし	Jute じうま 黄麻	Abaca アバカ	Sisal hemp サイザル	Kenaf 洋麻
アサ科	アマ科	イラクサ科	シナノキ科	バショウ科	ヒガンバナ科	アオイ科

※家庭用品品質表法で“麻”と表示されるのは亜麻と苧麻のみ

暮らしを紡ぐ
 フェアトレード
 ～縦糸は歴史、
 横糸は智慧を通す
 日々の暮らし～

展示即売会

2017年
 5月20日(土) 10時30分～18時
 21日(日) 10時30分～18時
 正文館書店本店 5Fホール (外通路より上へ)

自然素材、手仕事による服や雑貨を手にとり
 自分で着て確かめ、日々の暮らしを考える展示会。
 皆さんからリクエストいただいた People Treeの春夏
 カタログ掲載の服をはじめ、フェアトレードの素材が生きる
 服や雑貨たちも集まります♪ カフェコーナーや企画(右
 に掲載)もあり。すてきな生活をお過ごしください

参考: 赤星崇志『ヘンプ読本』、金曜頭『日本帝国主義統治下の朝鮮』、伊藤智夫『絹I』『絹II』、
 趙景達『植民地朝鮮と日本』平川すみ子講演会会議録、農業情報研究所報告書、ブリタニカ国際大百科事典、ネパルバザー-OPHP-ニューズレター、People Tree HP、(年数省略)

私たちが魅了するシルクの
 輝きは、蚕の偉業によるもの。
 蚕は幼虫の間、4回もの脱皮
 (休眠)を経て繭をつくり蛹
 (さなぎ)になる。何本かの繭糸を練り、
 つくられる生糸は天然繊維のなかで
 最もすぐれた繊維とされ、軽いうえに光沢、
 手ざわりがよく吸湿性、保温性に富んでいる。
 弥生時代には養蚕が行われていたという程
 長い歴史を通じて人間が改良してきたために
 蚕は成虫になって飛べない姿になってしまった
 のだとか。桑を栽培することから始まり、蚕を
 育て、繭から糸を練り、その生糸で絹織物を
 織る(さらに染め、縫う)という手間を勤しむ。
 明治以降、日本で養蚕が盛んになり第二次
 世界大戦前には生産量が世界一となったが
 戦後途絶えたように、世界中で今も養蚕業は
 盛衰がめまぐるしい。

あの『魏志倭人伝』にも記されて
 いるほど、大麻・苧麻・絹は
 日本で古来より利用されて
 いたんだって

ネパールのアロー(イラクサ科の
 苧麻の仲間!)は高さ3m
 莖の直径4cmにもなる
 巨大な植物!

衣服は生産工程が9割分、
 たくさん人の手と心を巡って
 ここに来てるんだね!

PTアローのコート
 - 試着中 -
 ひとつひとつ、ちがって
 あたり前だねえ

韓国のFT団体&ソンスンマウルへ取材に行ってきた

1910年の韓国併合から45年の終戦
 まで、朝鮮は日本の植民地でした

植民地支配と
 日本の衣

日本が植民地朝鮮で、お米を
 はじめとした農産物や、衣服の原
 料となる棉、桑(養蚕)の栽培を
 強いていたことをご存知ですか??

外国棉の輸入に依存する日本は、
 韓国併合前の1905年には南朝鮮で
 外来種であった陸地棉の栽培を「奨励」
 し始めました(桑苗についても「奨励」)。

「奨励」は結果、憲兵までもが動員された
 暴力的な強制で、棉を作らず麦や大豆
 を作るなど指示通りではない畑は踏みつ
 ぶされることがあったそうです。棉花を販
 売市場に向けるため、朝鮮農民には綿
 繰器の使用を禁じるなど自給が許されず、
 ますます商品貨幣経済の深みにはまり
 生活は貧窮化しました。

貿易という形で原料を略奪していた日本、
 されていた韓国、その両国でフェアトレードが
 推進されている意義を改めて考えさせられます。

～発行～
 フェアトレード・ショップ
 風's(ふ〜ず)

正文館店

名古屋市東区
 東片端 49
 (正文館書店本店2F奥)
 ★地下鉄「高岳」から
 北へ徒歩5分
 ★市バス「東片端」からは
 徒歩1分!(目の前停車)

【TEL/FAX】
 052-932-7373

【メール】
 huzu@huzu.jp
 【ホームページ】
 huzu.jp
 こちら↑みてみて☆

【営業時間】
 12～18時
 (月よう休み)

名古屋フェアトレード・
 タウンにしよう会
 <通称:なふたうん>
 (連絡先は風'sに同じ)
 http://www.nagoya-
 fairtrade.net/
 ワークショップ
 やってます!
 ご相談ください〜

5月13日は
 世界フェアトレード・デー
 何度もいいですが
 名古屋市は
 フェアトレード・タウン
 に認定されています!

なふたうんの
 フェアトレード月間
 ★イベント一覧★

*5/27(土)フェアトレード
 の現場を歩く「メキシコ
 で「先住民が」カフェ
 オープン

*6/10(土)映画「ポバ
 ティ・インワ」上映

*6/11(日)第2回フェア
 トレード・タウン名古屋を
 動かす! 元気な若者た
 ちのスピーチ

以上詳細はなふたうんHP
 にて掲載中